

Patent Number :

JP 48-021873 Y 19730626

Title :

Instrument panel

Abstract :

- In the instrument panel of the indicator which has clear and legible a dial and a pointer, the surface of an exchange electric field luminous body is covered by the shading dial and a light reflector, a transparent indication is provided in a shading dial, and a light reflector covers the back with a reflective layer, and establishes a pointer between the front of a shading dial, and the back of a light reflector.

⑤ Int. Cl.
G 01 d

⑥日本分類
105 A 44
105 A 43

⑦日本国特許庁

⑧実用新案出願公告

昭48-21873

実用新案公報

⑨公告 昭和48年(1973)6月26日

(全2頁)

1

2

⑩指示計器盤

- ⑪実願 昭43-71616
⑫出願 昭43(1968)8月20日
⑬考案者 坂本嗣
尼崎市神崎五反田287
⑭出願人 株式会社布谷計器製作所
尼崎市西長洲東通3の10
⑮代理人 弁理士 秋山正一

図面の簡単な説明

図は本考案の一実施例を示し、第1図は要部の縦断面図、第2図は第1図の一部を切欠いた平面図、第3図は反射板の部分拡大断面図、第4図は遮光文字板の部分拡大断面図である。

考案の詳細な説明

本考案は鮮明で見易い文字板と指針を有する指示器の計器盤に係り、交流電場発光体の表面を遮光文字盤と反射板とで覆い分け、遮光文字盤には透光性の表示を設け、反射板は背面を反射層で被覆し、遮光文字盤の前面と反射板の背面との間に指針を介在してなる指示計器盤に関する。

本考案を図について説明する。1は指示計器本体で遮光文字盤2の前面と反射板7の背面との間に介在した指針3が回動して特定の数値を指示するものである。遮光文字盤2は、交流電場発光体4の中心部6を残した外周部5を合成樹脂板等の透光板8で覆い、中心部6を残した外周部5に対して数字、目盛、図形等の表示9を、生地に設け、或は例えば図示のように凹刻10して白色、その他淡色の顔料を光が透過し得る程度に充填して透光層11として表示9を設け、それ以外を例えば黒色顔料で塗り尽して遮光層12を設けて形成する。従つて交流電場発光体4の外周部5からの光は遮光文字盤2の表示9の處では通過するが、遮光層12では遮られるので、表示9が透過光によつて鮮明に浮び上る。

反射板7は例えば図示のように指示計器本体1の硝子蓋13の背面において、交流電場発光体4の中

心部6に対向させて黒色顔料を塗布して遮光層14を形成し、その上に白色顔料を塗布して反射層15を形成する。従つて中心部6よりの光は透過することなく反射され、この反射光が指針3を照すこととなる。16は指針3の軸、17は例えばシンクロ電機を示す。

本考案の指示計器盤は上述のように構成するから数字、目盛、図形等の表示9は交流電場発光体4からの光線によつて遮光文字盤2上に鮮明に表示され、指針3は反射層15による反射光によつて上方より10照射されるので遮光文字盤2の黒地に浮き上つて見易い。しかも数字、目盛、図形等の表示9及び指針3は交流電場発光体4を光源としている関係上照度はむらがなく均一であり、消費電力も少なくて済む。

なお、交流電場発光体4の外周部5と中心部6と15で別色の発光体を使用すれば表示9と指針3とは別種の色を呈するので計器盤は見易くなり、或は別色の発光体とせずとも必要に応じてフィルターの使用により表示9と指針3とを好みの色に選定したり色別けすることができる。また、図示では指針が回転20形式であるが、横行形式の指示形式の指示計器盤であつてもよい。

従来の計器盤における交流電場発光体によつて裏面のみより直接照明する方法では指針は光の当らない陰としてのみ視認し得るから不明確な存在であり、25また側方より間接照明する方法では構造複雑で消費電力が多いなどの欠陥が見られたが、本考案はこれらを解決したものであり、振動の大きい車輛、或は航空機、船舶等においてもその利用範囲は大きい。

⑩実用新案登録請求の範囲

30 交流電場発光体の表面を遮光文字盤と反射板とで覆い分け、遮光文字盤には透光性の表示を設け、反射板は背面を反射層で被覆し、遮光文字盤の前面と反射板の背面との間に指針を介在してなる指示計器盤の構造。

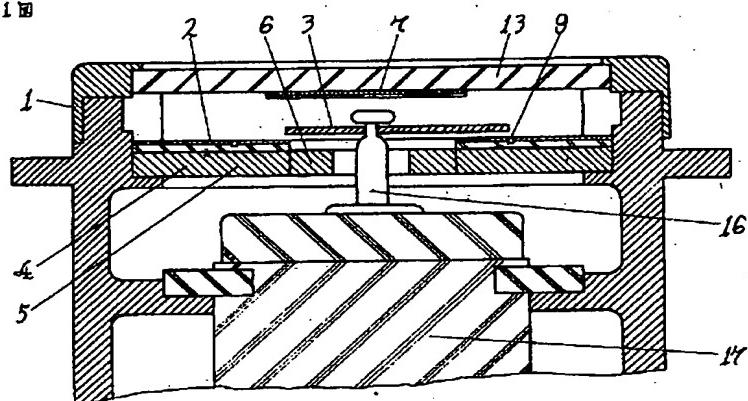
⑪引用文献

- 実公昭29-11664
実公昭39-7481

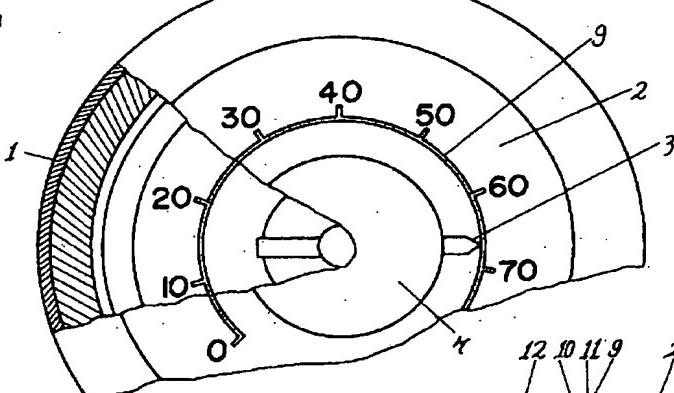
(2)

実公 昭48-21873

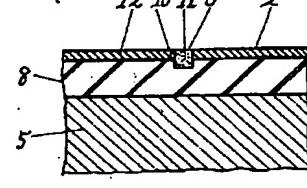
第1回



第2回



第4回



第3回

